

哲学委員会いのちと心を考える分科会（第25期・第8回）
議事要旨

日 時：2022 年 1 月 24 日（月）10：00～12：00

場 所：オンライン開催

出席者：芦名、安藤、一ノ瀬、香川、加藤、小島、島菌、鈴木、田坂、建石、豊田、土井、八木、羽生

議事

1) 前回（第6回分科会）議事要旨について承認。

*なお、第7回分科会は合同分科会としての開催のため分科会独自に記録は残さない。

2) トリアージ・シンポジウムの書籍化における編者について、承認。

「土井健司・田坂さつき・加藤泰史編」

*分科会における審議、シンポジウムの成果であることは、本の中で言及する。

3) ゲノム編集関係の報告

*1月7日（金）に「ヒトゲノム編集のガバナンスと基礎研究・臨床応用に関する委員会」の第2回委員会が開催され、「提言 ヒト受精胚にゲノム編集技術を使う倫理的正当性について」の報告を、本分科会より香川知晶委員が行い、協議をおこなったことの報告。

*ゲノム編集技術についても、本分科会として継続して関心をもって取り組んでいく。

4) 安藤泰至委員による特別報告「安楽死・尊厳死とはどういう問題なのか？」が、PPT 資料を用いて行われた。

5) 今後の予定

次回分科会は、新年度を予定し、松田純氏（静岡大学特任教授）を参考人として招致することとなった。日時について予定を調整のうえ、「伝助」を通して確認することとした。

なお安楽死・尊厳死については、多様な専門分野の委員より構成されている本分科会の委員による発表も今後予定し、また新年度にシンポジウムの企画を検討することとなった。

以上